



動画の共有を活用したスピーキング指導の工夫  
(NEW HORIZON English Course 3 Unit 3 Animals on the Red List)

- ①話・や ①話・発 ②評価 ③タブ ③TV ③デジ教

【ここがポイント!】

④ロイロノート

①「動画を活用した学習課題の設定」

事前にALTに協力してもらい、イベント案内のポスターの内容について、ALTがJTEに質問をしている動画を作成し、生徒に提示する。動画を活用することで、生徒は、ALTの言葉からだけでなく、声や表情などから、ALTの質問の意向をとらえ、目的・場面・状況等を明確にした学習課題を設定することができる。

②「『評価』を生かしたスピーキング活動の充実」

タブレット端末を用いて、自分の発話の様子を撮影することで、何度も個人で見直し、自分の表現を練り直ししながら、自己調整することができる。また、ロイロノートを活用し、動画を共有することで、生徒と生徒、生徒と教師の間で、効率よく評価することができる。

【実践の目標】

本文の内容をもとに、地域に生息する絶滅危惧種に関する情報を伝えるなど、ALTの質問に対して適切に応答することができる。

【実際の場面】

1. 動画を活用し、学習課題を設定する

校内に貼られたイベント案内のポスターを見たALTが、ポスターの内容に関してJTEに質問をしている動画を視聴した。そのやり取りから目的・場面・状況等を理解し、解決方法について提案した。

2. ALTへの返事を個人で録画する

ALTの質問に対する返事を即興で考えさせ、タブレット端末を用いて撮影した。その際、ALTの動画をロイロノートで生徒に送り、ALTの質問の意向を意識させるよう工夫した。



3. 教科書の音読

デジタル教科書のマスク機能を活用し、教科書の音読を行った。発音の確認や内容把握だけでなく、ALTへの返事に活用できそうな表現にも着目させた。

4. グループで共有し、アドバイスし合う

ロイロノートの生徒間通信機能を活用し、個人で撮影した動画をグループで共有した。互いの動画を見ながら、ALTの質問の意向を踏まえた返事になっているか、伝えたい内容に適した表現となっているか確認し、改善点についてアドバイスし合った。

5. 返事の内容を推敲し、撮り直す

グループからのアドバイスをもとに、返事の内容を推敲し、再度撮影した後、ロイロノートの資料箱に提出した。

6. 全体での共有

数名の生徒の動画を大型テレビに映し、全体で視聴し、工夫したポイントについて交流した。

7. 振り返り・教師からのフィードバック(後日)

撮り直した動画に加え、「英語で伝えられなかった表現」を提出させ、後日、教師がそのデータに評価を貼り付けて返却した。このフィードバックによって生徒はさらに豊かな表現にしようとする意欲を高めていた。

【成果と課題】

【成果】

- 文章で表現すると複雑な内容でも、動画を用いることで、生徒に目的・場面・状況等を効率的に理解させることができた。
- 録画や共有の機能を用いることで、生徒が表現の幅を広げたり、内容を追加したりするなど、言語活動を充実させることができた。また、自己評価・相互評価、教師による評価を客観的かつ速やかに行うことができた。

【課題】

- 自分の音声や映像を視聴することに慣れていない生徒も多いため、日ごろから動画を活用した学習活動を取り入れ、表現の幅を広げられるようにする。